

## GO-JEK (ゴジェック) について

インドネシアでは一般的な移動手段として、バス・電車・タクシー・バジャイ（三輪タクシー）などがありますが、その他に人々によく知られている身近なものとしては、オジェックと呼ばれるバイクタクシーがあります。

オジェックとは、客をバイクの後ろに乗せ、二人乗りで目的地まで移動するものです。しかし従来のオジェックでは、いくつかの問題が見られました。例えば、利用したい場合は道路の脇にある運転手の待機場所まで行かなければならない、目的地や距離に応じて値段交渉しなければならない、ヘルメットを使わないなど交通ルールを無視している場合もある、運転手の素性が分からないなどです。というのも元々オジェックのドライバーには、資格は必要なく、バイクさえ持っていれば誰でもできるものだからです。そのため本業の傍ら空いた時間に副業としてオジェックのドライバーをしている人も多いようです。

そんな中、2015年に生まれた新たなサービスがGO-JEK（ゴジェック）です。GOJEKとは従来のオジェックを、オンラインタクシーのアプリケーションにしたサービスです。オンラインサービスにしたことにより、いつでもどこでも簡単にバイクタクシー呼ぶことができ、値段も距離に応じて適正な価格が決められているため、交渉の必要もなくなりました。専用アプリをダウンロードし、登録するだけで利用可能な手軽さから、利用者を急速に増やしています。



GO-JEK ドライバー

GOJEKの主なサービスはバイクタクシーですが、その他にも荷物の宅配、買い物代行、清掃サービスなどサービスの幅広さも人気の理由です。

### ■ 登録時必要なもの

- アプリケーションのダウンロード
- インドネシアでの電話番号  
※GO-JEKを利用した際に確認の電話があるため
- メールアドレス

### ■ 登録方法

- (1) アプリケーションをダウンロード
- (2) アプリを起動し「REGISTER」を選択
- (3) 電話番号、メールアドレスを登録
- (4) 個人情報を登録
- (5) 電話番号認証
- (6) メールアドレス認証

■ 利用方法(バイクタクシーGO-JEK の場合)

- (1) アプリを開き「GO-JEK」を選ぶ
- (2) 現在地が表示される
- (3) 目的地を入力
- (4) 迎えに来てもらう場所を指定
- (5) オーダーすると近くのドライバーが指定される
- (6) ドライバーから確認電話があり乗車
- (7) 到着後、現金またはGO-PAYで支払い

また、GO-JEK のドライバーになるには、一定の条件を満たし、GO-JEK のメンバー登録をする必要があります。そのため従来のオジェックと比べ、利用者にとってはある程度の安全性が保障されているともいえます。

GO-JEK のドライバーとして登録するための主な条件は下記の通りです。

- スマートフォンを持っていること
- オンライン面接
- 一日 50 円程度のデポジットを 40 日間支払う (トータル 約 2,000 円)
- GO-JEK 指定の銀行口座を持つこと、その口座へ 1,000 円程度の預金があること
- 収益の分配はドライバーと GOJEK (企業) で 8 : 2

GO-JEK にドライバーとしてメンバー登録するとユニフォームである緑と黒のジャンパーと同乗者用も含めたロゴ付きヘルメットを与えられます。

登録者はオジェックのドライバーをしていた人の他に、異業種からの転職者、失業者など様々で、登録が相次いでいます。同社はこれまでに東南アジア全体で 200 万を超えるドライバーパートナーと提携しています。

GO-JEK のサービスの登場により、利用者は面倒な価格交渉や待機場所に行く手間から解放されました。ドライバーも待機場所で終日利用客を待つ従来の非効率な状況ではなくなり、空いた時間に対応可能であることをオンラインで知らせ、近くにいる利用者を効率よくピックアップできるようになりました。

バイクタクシーや様々な代行サービスは実際には以前からあったものですが、それを個人レベルからオンラインビジネスに展開した点は、インドネシア人の生活様式の変化に対応したものであるといえます。今後インドネシアでもますます IT 化が進み、従来あったサービスや商品が形を変えていくのでしょう。

GO-JEK は現在、マレーシア発祥で同様のサービスをインドネシアで展開する”Grab”と激しい競争を展開しています。インドネシアで成功を収めた GO-JEK は現在、シンガポール、タイ、ベトナムの 3 か国で展開しています。また、今後はフィリピンでも展開するというニュースがあり、ますます海外進出を積極化していくようです。

バイクタクシーは通常の観光ではなかなか利用する機会は少ないかもしれませんが、機会があれば GO-JEK を利用してみてください。近年のインドネシアのビジネスモデルの変化を肌で感じることができるでしょう。

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (PT. JC内) 概要★

所在地：Rukan Tanjung Mas Raya Blok B-1 No. 46

Jl. Raya Lenteng Agung, Tanjung Barat, Jagakarsa,

Jakarta Selatan 12530 INDONESIA

デスク担当者：PT. JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています(岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」利用の[手引き](#)をご覧ください。岡山県産業企画課マーケティング推進室(電話 086-226-7365)までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。